

## 本日の検討内容について

- ・地域の様々な機関がつながることで、「できること」を増やし、「理想の姿」に近付ける仕組みづくりが「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」です。
- ・テーマ①～③の中から、話しやすいテーマを2つ選んで話し合ってください。
- ・「理想の姿」の達成に向けて、各検討の中で、「今やれている事」や「このグループの中で、この機関とこの機関が手を結ぶと、これができるそう」を意識して検討をお願いします。

**【理想の姿】** 障害のある人もない人も、お互いに尊重し合い、市民全てが安心して自立した暮らしができるまち・府中の実現

**【検討のテーマ】** ※資料3 アセスメントシートの構成要素より。

- ①地域の助け合い・教育
- ②住まい
- ③社会参加（就労）

### 【参考資料】

検討テーマ（構成要素）		困り・課題/まだ取り組めていないこと	実施していること	実施できる事/今後できそうな事
①地域の助け合い・教育	地域移行	【例】コミュニティも含めた住環境の支援		
	地域生活	【例】精神疾患を身近に感じてもらう工夫 【例】地域のコミュニティづくり	【例】訪問支援している作業所がある 【例】孤立しないための支援	
②住まい	地域移行	【例】住まい探しのハードルが高い	【例】生活力のチェック	
	地域生活	【例】アパート探しの壁（精神障害という偏見、保証人問題、トラブル） 【例】住み慣れたまちに住み続けることが難しい	【例】馴染みの不動産屋をつくる	【例】グループホーム新設について
③社会参加（就労）	地域移行	【例】ピアサポートを活用したい		
	地域生活	【例】社会につなげられない人がいる 【例】高齢化により通所が続かない 【例】社会の役に立ちたい	【例】他者とかかわる機会をつくる 【例】高齢者の日中活動 【例】ピア活動支援について	【例】就労に関する連携の強化